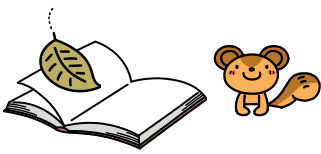


そのだ南

尼崎市立園田南小学校
学校便り 第8号
令和3年11月1日

HPアドレス www.ama-net.ed.jp/school/E45/index.html



心を豊かにするために

校長 佐藤 喜代子

秋晴れの中、体育大会を無事に実施することができました。保護者の皆様には、感染状況で二転三転するお知らせに、やきもきされたのではないかと思います。そのような中、ご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。開催方法などの課題はありますが、子どもたちはよく頑張り、それぞれが自分の力を出し切りました。昨年度はできなかった応援団の取り組みや、限られた中でしたが、休み時間を使った練習に意欲的に取り組んでいました。学年を超えた関わりができたのも大きかったと感じます。

子どもたちの生き活きとした表情を見て、「人との関わりの中で、いろいろな体験がやりがいと達成感を味わわせ、ぐっと成長することにつながる」と実感した3週間でした。そして、久しぶりにマスクをしない輝く表情を見て、胸にこみあげるものがありました。今後、本来の体育大会の内容ができるようになるか心配は尽きませんが、本校の児童増を踏まえ、子どもたちはもちろんのこと、支えていただいている保護者や地域の皆様に喜んでもらえ、安心して安全な開催ができるように、知恵をしぼっていきたいと考えます。

今月は音楽会を予定しており、学年全体練習も始まっています。また違った活躍と成長ぶりを期待し、5・6年生には最後となる会を充実したものになるよう、一丸となって取り組んでまいります。

先日、6年生が、能楽師の方に「能・狂言」の世界を実際に学ぶ機会がありました。伝統芸能という日本が誇る芸術を直接目にし、鑑賞できる貴重な経験となりました。能・狂言は、室町時代のはるか昔から、ほぼそのままの形が、今でもきちんと受け継がれていると教わりました。演じ手は変わっても、その心はつながり、今後もつないでいくことが今を生きる者の役目でもあります。

私自身は、映画等を観るのが好きで、一人でも映画館に出かけたり、家で楽しむことも多いので、つついスクリーンタイムを取りすぎてしまいます。また、外国映画を観るときには、必ず字幕を追うのですが、よく名前を目にする映画字幕翻訳家の戸田奈津さんが「声を感じて」というテーマで書かれていました。

私は映画好きの子供で、よく映画館に通っていました。初めて聞き取れた英語のセリフは「サンキュー」。うれしかったですね。字幕の文字数はセリフ1秒あたり、3、4文字以内です。レイアウトは1行あたり13文字で、2行が限界。それが字幕翻訳の原則です。人間が一瞬で読める時数には限りがあるから。読みきれなければ、状況がわからないまま場面が変わってしまいます。

外国映画がこれほど多く字幕で公開されてきた国は珍しいと思います。なぜ日本では字幕が広がっているか。識字率の高さが背景の一つでしょうが、最大のポイントは「声」だと私は思います。吹き替え役の声優の声でなく、俳優本人の声を聞きたいという願望。つまり本物志向です。来日した海外の俳優から、日本では字幕で鑑賞されていると伝えると喜ばれます。苦勞して演じた自分の声、その声に託した感情が観客に届いているとわかるからです。

台本のセリフを日本語に置き換えるとき、私は必ず、映画の音声を聞きながら訳します。声を聞かないと語り手の感情がわからないからです。字幕のわずかな情報量から観客が豊かな物語を感じ取れるのは、俳優の声が感情を伝えているためです。いま若者は字幕より吹き替えを好むようですが、私は俳優本人の声を聞きたいと思います。ある女優が役柄で、ポーランド出身者がドイツ語なまりのたどたどしい英語をしゃべる様子を完璧に演じていました。声の中に主人公の一生があった。それは、字幕翻訳にも吹き替えにも置き換えられないものです。お手上げでした。

参照：朝日新聞 R3.10.26

本物の芸術に直接ふれ、わかりやすく学べる機会は、なかなか難しいことです。日本だけでなく、ほかの国の文化であったり、音楽、演劇や美術作品といったコロナ禍では、どちらかというとなかなか注目をすることが、感性や心を育てると見直されています。本物に出会い、肌で感じる経験が、子どもたちのこれからのプラスになることは間違いありません。加えて、人生に彩を与え、心を豊かにする一冊との出会いを大事にしてほしいと思います。活字の世界から得たものは、知識だけでなく、物事に進んで取り組む意欲や認知機能などにつながると思います。お家では二極化しており、あまり活字に触れることのない子どもたちが多くいます。

何でも吸収できる今だからこそチャレンジして、心を豊かにしてほしいと願っています。

苦勞して練習してきた自分の演奏、その演奏に託した感情がこちらに伝わる音楽会を楽しみにしています。

昨年度はコロナ禍で中止になった全国学力・学習状況調査が、今年度は5月に6年生対象に実施されました。尼崎市は、あまっ子ステップアップ調査を独自で実施しており、子どもたちの弱みと強みの経緯を知る資料として学習状況の把握をしていた結果が、全国調査の結果にも表れていました。全国調査の問題は、総合的な読解力と理解力、応用力を求める傾向があるため、苦戦したかと思われます。

国語では、全国平均を少し上回る正答率であったものの、ステップアップ調査でも課題のある算数では、全国平均を少し下回る結果となりました。しかしながら、どちらの教科もおおむね全校平均であるといえます。

国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」では、平均以上であったのに対し、資料を用いて読み解くことや文中の主語と述語との関係を捉える問題に課題が見られました。

算数では、変化と関係に関する問題は平均以上でしたが、数と計算の問題、図形に関する問題、グラフから読み解く問題、文章題の日常生活の場面から判断する問題に課題があることがわかりました。

質問紙調査では、将来の夢や目標を持つことや自分で計画的に勉強することはできているものの、自主的に問題解決に向けて考え、取り組むことや学んだことを他のことに活かすことなどは課題があることがわかりました。

また、ICTを活用する学習は大幅に増えている反面、新聞を読むことや家での読書時間は少ないことがわかりました。正答率に反映するように、国語よりも算数に苦手意識があり、苦手なものに積極的に取り組む意識はまだ弱い傾向があるようです。一方で、英語の学習は好きだという子どもたちが多いこともわかりました。

新型コロナウイルス感染拡大で休校になった期間中は、おおむね計画的に学習ができており、学習状況への影響は大きくなかったことは、お家での見守りや声掛けができていたからだと思います。

12月に、あまっ子ステップアップ調査(国語と算数)が全学年で予定されています。今後も、行事などの取り組みと並行して、学力向上を目指して日々、取り組んでまいります。また、タブレットを学習のツールとして上手に活用できるように、いろいろな工夫をしていくことも意識していきたいと考えます。

11月 行事予定

1日(月)	朝会	諸費振替日	17日(水)	クラブ(6h)	登校指導
2日(火)			18日(木)		●
3日(水)	文化の日		19日(金)	1,2年校外学習	
4日(木)		●	20日(土)		
5日(金)			21日(日)		
6日(土)			22日(月)	1,2年校外学習(予備日)	人権週間
7日(日)			23日(火)	勤労感謝の日	
8日(月)			24日(水)		
9日(火)			25日(木)		●
10日(水)	委員会活動(6h)		26日(金)	地震津波避難訓練(5h)	↓
11日(木)		●	27日(土)		
12日(金)	音楽会(児童鑑賞日)		28日(日)		
13日(土)	音楽会(保護者鑑賞日)		29日(月)	修学旅行(6年) 環境体験学習(3年) 自主学ウィーク	
14日(日)			30日(火)		
15日(月)	音楽会 代休日	諸費振替日	12月1日(水)~3日(金) 午前中授業(13:50下校) 個人懇談(希望制)		
16日(火)		●は定時退勤日	7日(火) 参観・引き渡し訓練(2年) 21日(火) 給食終了		
			22日(水)・23日(木) 短縮授業 24日(金) 終業式		

2学期 生活目標

友だちの気持ちを大切にし、力を合わせてがんばろう



11月のめあて

言葉づかいをていねいにしよう

音楽会のお知らせ

音楽会が下記の日程で行われます。

場 所 本校体育館(北校舎3階)

テーマ 「伝えよう!音と心のハーモニー」

日 時 11月12日(金):児童鑑賞

13日(土):保護者鑑賞(学年ごと総入れ替え制)※各家庭代表者1名

※11月15日(月)は代休日です。

注意 演奏途中の入退場はできません。出入りは演奏と演奏の間のみになります。

音楽会の保護者鑑賞日は入れ替え制になっております。体育館入場への順路が、前回と変わっています。「音楽会のご案内」(配布済)やプログラムの裏面でご確認ください。